

## チャレンジシップフォーラム 2010 活動内容

【開催日時】 平成 22 年 12 月 21 日（火）

【時間】 13：00～18：00

【場所】 メルパルク大阪

### 【チャレンジシップフォーラム活動内容と 2010 年度のテーマ】

株式会社アサヒディードでは、2007 年度からアルバイトスタッフを含む全従業員が参加する全社大会『チャレンジシップフォーラム』を開催しております。

この活動も今年で 4 年目を迎えます。今年のテーマ「挑戦—<sup>せい!</sup>誠—」です。

まずは、チャレンジシップフォーラム 2010 テーマについてご説明させていただきます。

「誠」という字は、「言う」と「成る」から構成されています。チームで計画に基づく活動を行い全員で目標を達成する事＝有言実行という意味合いがあります。或いは『口にすることで実践する、成し遂げる』といった決意が込められています。

テーマを実際に言ってみると、「挑戦せい！」という威勢の伊関西弁にも聞こえます。

スタッフにとっても身近なテーマとして皆さんが口にされ、お互いにハッパを掛け合うことにも役立てばと思いこのテーマを選びました。また、これまで 3 年間とは異なり、事務局メンバーを一新して「新しいカタチ」を模索することを目標としたのです。今まで以上に中身のある、充実したフォーラムの実現に従業員一同が挑戦をしようと言うものです。アサヒディードは、従業員個々人が成長できるよう挑戦することが大切だと考えております。今後もスタッフがこの会社に出逢えてよかったと感じて欲しい、そして人間として成長出来る場となるようにフォーラム活動を続けていく予定です。

### 【2010 年度のチャレンジシップ選考内容】

10 月末に壇上チームの選考会が行われ、全 10 チームの中から活動が優秀であると認められた 3 チームが壇上店舗に選ばれました。また惜しくも壇上店舗には及ばなかったが、他店舗でも是非見習いたいと思える活動を行った 1 チームが特別賞となりました。合計 4 チームが壇上で自分達が行ってきた活動内容の発表を行ったのです。発表を行ったチーム以外の従業員や来賓の方に、一番共感できるチームに投票して頂き、最も得票数の多かったチームが CHAMPION of CHALLENGER EXECUTIVE 壇上チームとして表彰されます。

## 【2010年度チャレンジシップフォーラム内容】

13:00 社長挨拶・オープニング・開会宣言・優勝盾返還・大会説明

13:45 プレゼンテーション \*全4チーム発表順(1チームは特別賞)

① イル・サローネみてじまチーム

テーマ『みてじま店の躍進～We ♥ Walk』 目標 ～世界一周4万キロ達成～

② イル・サローネ茨木チーム

テーマ『Re ☆ Challenge』 目標～地域一番店の達成※4月～9月の6ヶ月の中3ヶ月一番店達成～

③ イル・サローネ貝塚チーム

テーマ『2010個の元気玉』 目標～お客様・スタッフ・店舗が元気に溢れる2010個のエネルギーを集める!～

④ イル・サローネ阪急豊津チーム (特別賞チーム)

テーマ『～絆～2010、より深く、より広く』 目標 ～絆の種・絆の華「2010個」～

\* 常務振り返り・投票

### 【各種表彰】

1. 『ベストサービス賞』 スタッフ11名 社員12名

『最優秀ベストサービス賞』 スタッフ・社員各1名

2. 『最優秀改善提案』 1名発表

3. 『最優秀社員賞』 1名発表

4. 『精勤賞』 発表

5. 2010年度入社社員決意表明

『壇上チーム表彰』

チャレンジシップフォーラム2010壇上チーム 各チーム表彰 チャンピオンオブチャレン

ジャー発表・表彰

エンディング・スタッフロール

閉会

【オープニング】＊社長談話です



【イル・サローネみてじま店】の壇上発表風景です



【イル・サローネ茨木店】の壇上発表風景です



【イル・サローネ貝塚店】の壇上発表風景です



【イル・サローネ阪急豊津店】の壇上発表を終えた風景です」



【ベストサービス賞受賞の社員・スタッフ】



## 『CHAMPION of CHALLENGER EXECUTIVEのイル・サローネ貝塚店の活動取り組み理由』

貝塚店はオープンより1年が経過しました。お客様の認知度も少しずつ向上してきましたが、店舗には足りないと思うものがありました。それは、スタッフ同士の信頼関係でした。

お客様への最高のサービスを提供するためには、心から笑顔で接することが必要であると感じています。しかし現在はそうすることができない。第1回スタッフミーティングの中で、そのような環境を改善するためには、スタッフ同士・スタッフと社員の信頼関係を再構築することが必要であるという一つの結論に至りました。具体的にどうすれば信頼関係を築くことができるのか、その答えは見つかっていませんが、活動を通じて一緒に探していきたい。そして、最終的にはお客様・スタッフ・店舗全体が笑顔に溢れる状態へと導いていきたいとの思いから[元気玉（お客様や従業員同士がありがとうという気持ちを持った際に、その人にお礼内容を書いたメッセージカードを丸く切って作成して掲示を行います）それを元気玉と呼びます]。イル・サローネ貝塚店は、チャレンジシップフォーラムをお客様・スタッフ・社員の絆を深めるための挑戦の場として活動に取り組んでくれました。CHAMPION of CHALLENGERに選ばれてイル・サローネ貝塚店のスタッフもご家族も活動に取り組んできてよかったと言ってくれました。

### 【チャレンジシップフォーラム2010を終えて】

今回は、3番目に発表を行ったイル・サローネ貝塚店がCHAMPION of CHALLENGER EXECUTIVE壇上チームに選ばれました。最初は信頼関係の無さからチーム一丸と成れませんでした。コミュニケーションを重ねることでお互いを理解し合い、一つの目標に向かって進むことができるようになりました。このプロセスが観客の共感を生んだのではないかと思います。チームメンバーの一人は、「この活動をここで終わりにするのではなく、今後も形を変え良い活動にする事が重要だと思います」と言っていました。また最も素晴らしいサービスを提供した社員スタッフをベストサービス賞としてフォーラムの場で表彰を行っていましたが、今回は新しく[最優秀改善提案]賞を設けました。スタッフが店舗で行ってくれた提案内容を検討し、良い提案であればオペレーション化し全店舗で導入を行います。今回は泉佐野店で提案を行ってくれた女性スタッフにこの賞が贈られました。フォーラムで感じた事を活かして、また来年に向けてスタッフ、従業員が成長出来る場を提供していきたいと思えます。